

平成20年7月28日

各位

会社名 株式会社ノーリツ
 代表者名 代表取締役社長 神崎 茂治
 (コード 5943 東証第1部、大証第1部)
 問合せ先 取締役 加部 利明
 常務執行役員
 (電話番号 078-391-3361)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年12月期中間期において特別損失を計上するとともに、平成20年2月15日に公表した平成20年12月期の業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年12月期の業績予想数値の修正

(1) 平成20年12月期中間期業績予想(平成20年1月1日～平成20年6月30日)

【連結】 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	88,000	700	1,000	300
今回修正予想(B)	86,375	530	1,006	64
増減額(B-A)	△1,625	△170	6	△236
増減率(%)	△1.8	△24.3	0.6	△78.7
前期実績(平成19年12月期)	88,878	1,371	1,971	360

【個別】 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	64,500	500	1,000	450
今回修正予想(B)	64,006	96	953	△313
増減額(B-A)	△494	△404	△47	△763
増減率(%)	△0.8	△80.8	△4.7	—
前期実績(平成19年12月期)	67,942	654	1,350	326

(2) 平成20年12月期通期業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

【連結】 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	186,000	3,500	4,200	2,000
今回修正予想(B)	183,000	3,500	4,200	2,000
増減額(B-A)	△3,000	—	—	—
増減率(%)	△1.6	—	—	—
前期実績(平成19年12月期)	180,017	2,358	3,019	△1,208

【個別】 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	134,000	1,500	2,200	1,000
今回修正予想(B)	134,000	1,500	2,200	400
増減額(B-A)	—	—	—	△600
増減率(%)	—	—	—	△60.0
前期実績(平成19年12月期)	134,929	508	1,282	△1,244

2. 修正の理由

(1) 平成20年12月期中間業績予想の修正について

①連結

国内では新設住宅着工戸数の減少、取替需要の低迷が続く中、市場競争が一段と激しさを増し、ガスコンロを中心とする厨房機器、システムバス、システムキッチンを中心とする住設システム機器の売上が計画を下回り、また海外でも米国におけるサブプライムローン問題の影響を受けガス給湯器の販売が伸び悩み、売上計画を下回る見込みとなりました。このような厳しい状況の中で、原材料費のコストダウン、人件費・経費の削減に努めましたが、売上減少による利益減をカバーできず、営業利益、中間純利益が計画を下回る見込みとなりました。

②個別

当社におきましても、上述のとおり需要減少、市場競争激化による売上・利益の減少に加え、連結子会社ノーリツアメリカコーポレーションについて、同社の損益状況、財政状況及び今後の見通しなどを勘察し、健全性の観点から投資損失引当金765百万円を特別損失として計上することとしたため、中間純利益が大幅に減少する見込みです。

(2) 平成20年12月期通期業績予想について

通期の見通しにつきましても、中間期の業績および下半期の国内需要減少と米国市場における競争激化を見込み売上計画を減額見直ししました。一方利益面につきましては、原油、素材価格の高騰の影響が予測されますが、「エコジョーズ」など高機能商品の拡販、人件費・経費のさらなる削減に努めることにより、当初計画を維持できるものと見ております。なお個別通期につきましては投資損失引当金の影響により当期純利益を減額修正しております。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上